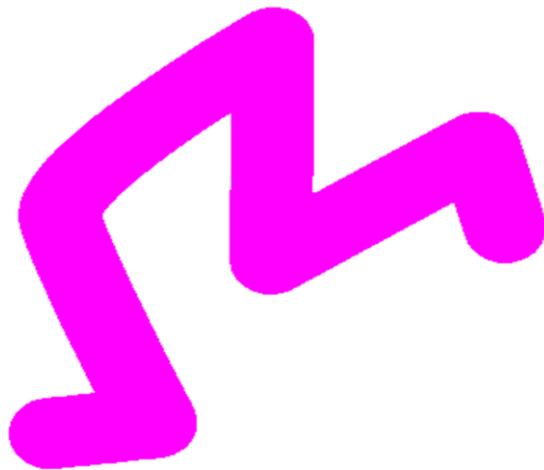


2021年度

事業報告書  
決算報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)



一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

# (目次)

事業報告書	頁
1. 総括	3
2. 理事会・評議員会に関する事項	4
3. 組織及び職員に関する事項	6
4. 事業の実施に関する事項	9
(1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等	9
(2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発	9
(3) 介護技術等研修事業	10
(4) 訪問看護事業	10
(5) 介護老人保健施設事業	11
(6) 通所リハビリテーション事業	11
(7) 訪問リハビリテーション事業	12
(8) ごてんやま居宅介護支援事業	12
(9) こはま居宅介護支援事業	12
(10) 訪問介護事業	13
(11) 通所介護事業(池ノ島デイサービスセンター)	13
(12) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業	14
(13) 御殿山地域包括支援センター事業	14
(14) 小浜地域包括支援センター事業	15
(15) 障害者指定・特定相談支援事業	16
(16) シルバーハウジング生活援助員派遣事業	17
(17) ファミリーサポートセンター(育児)事業	17
(18) 介護ファミリーサポートセンター事業	18
(19) 言語訓練事業(話咲会)	19
(20) 介護予防普及啓発事業(いきいき百歳体操)	19
(21) ステップはつらつ体操教室	19
(22) 認定調査ステーション	20
(23) 視察等受入状況	20
決算報告書	
1. 正味財産増減計算書	23
2. 正味財産増減計算書内訳表	25
3. 貸借対照表	29
4. 財産目録	30
5. 財務諸表に対する注記	31
6. 附属明細書	33
監査報告書	
1. 監査報告書	35

2021年度

# 事業報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

## 1. 総括

2021年度は、昨年度の介護老人保健施設ステップハウス宝塚老朽化にともなう大規模空調修繕工事を終え、また引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の中、職員への新型コロナウイルスワクチン予防接種を実施する等、感染対策また部署ごとに工夫して在宅ワークを継続し、リモート研修等への参加も積極的に行いました。

第3期中期経営計画（チャレンジプラン2019～2021）の最終年度でもあり、昨年度の大規模空調工事による赤字を取り戻すべく各部門において目標達成に向けた取り組みを強化・推進いたしました。

一方、経営面では、組織体制を変更し、3部長制を導入することでスピーディかつ柔軟な方針決定が行える体制を構築しました。また、介護職採用において苦難な中で篠山学園より外国人介護福祉士2名を採用、介護老人保健施設ステップハウス宝塚内エレベーター改修工事、今年度より新たな処遇改善補助金が創設され、申請手続きをいたしました。そして第4期経営計画（チャレンジプラン2022～2026）の策定準備にも着手しました。

結果として、当公社の収支決算については、介護保険事業収入で1,054,514,805円と対前年比4.4%増、介護保険事業費用1,030,259,445円と対前年比1.5%減となり、大幅な収支の好転となりました。その要因としましては、大規模空調修繕工事終了後のステップハウス宝塚の稼働率回復により事業量で対前年比+8.6%、収支差で47,040,622円の大幅増となり、通所リハビリテーション事業についても対前年比+3.2%、収支差では9,001,762円の増となりました。

また、公益目的事業収入65,848,456円、公益目的事業費用86,256,161円で収支差は、△20,407,705円と前年より計上した額は少なく、法人会計においては、新型コロナウイルス感染症関連の補助金収入が減り、収入は510,295円、費用は対前年比14.5%の15,422,221円で、収支差△14,911,926円となっております。

従いまして2021年度の収支決算は、経常収益1,120,873,556円で対前年比3%増、経常費用1,131,937,827円で対前年比1.7%の減で、収支差額は△11,064,271円と赤字にはなりましたが、2020年度より51,765,357円のプラスと大幅に改善しました。

第4期経営計画（チャレンジプラン2022～2026）の初年度につきましては、健全な財務体制の確立に向け、人員の適正配置、加算取得による収入アップと業務オペレーション改善による効率的事業運営に取り組んでまいります。

## 2. 理事会・評議員会に関する事項

### (1) 理事会

区分	日時・場所・付議事項	結果
第1回	2021年6月7日(月) 於：一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社 理事長室 (Web会議システム)	
	議案第1号 2020年度事業報告の承認について	承認
	議案第2号 2020年度決算報告の承認について	承認
	議案第3号 公益目的支出計画実施報告書の承認について	承認
	議案第4号 役員賠償責任保険について	承認
	議案第5号 任期満了に伴う理事・監事及び評議員の選任について	承認
	議案第6号 2021年度第1回定時評議員会の開催について 報告第1号 2020年度発生事故について	承認 報告
第1回 臨時	2021年6月29日(火) 書面表決開催	
	議案第1号 代表理事・副理事長・常務理事・苦情解決第三者委員の選任について	承認
第2回	2021年12月8日(水) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム	
	議案第1号 2021年度上半期経営状況について	承認
	議案第2号 2021年度第1回臨時評議員会の開催について	承認
	報告第1号 第4期経営計画(チャレンジプラン2022~2026)策定に係る進捗状況と経営課題について	報告
	報告第2号 2021年度上半期の発生事故について	報告
第3回	2022年3月10日(木) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム (Web会議システム)	
	議案第1号 2022年度事業計画について	承認
	議案第2号 2022年度収支予算について	承認
	議案第3号 2021年度第2回臨時評議員会の開催について	承認
	報告第1号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社、規則、規程改正について	報告
	報告第2号 新型コロナウイルス感染症の状況報告及び対策について	報告

(2) 評議員会

区分	日時・場所・付議事項	結果
第1回 定時	2021年6月29日(火) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム (Web会議システム)	
	報告第1号 2020年度事業報告について	報告
	議案第1号 2020年度決算報告の承認について	承認
	報告第2号 公益目的支出計画実施報告書の提出について	報告
	議案第2号 役員賠償責任保険について	承認
	議案第3号 任期満了に伴う理事・監事及び評議員の選任について	承認
	報告第3号 2020年度発生事故について	報告
第1回 臨時	2021年12月22日(水) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム	
	報告第1号 2021年度上半期経営状況について	報告
	報告第2号 第4期経営計画(チャレンジプラン2022~2026)策定に係る進捗状況と経営課題について	報告
	報告第3号 2021年度上半期の発生事故について	報告
第2回 臨時	2022年3月30日(水) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム (Web会議システム)	
	報告第1号 2022年度事業計画について	報告
	報告第2号 2022年度収支予算について	報告
	報告第3号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社、規則・規程改正について	報告
	報告第4号 新型コロナウイルス感染症の状況報告及び対策について	報告

### 3. 組織及び職員に関する事項

#### (1) 役員

2022年3月31日現在

(理事・監事)

(評議員)

	役員の種類	名 前	備 考
1	理 事 長	妙 中 信 之	ステップハウス 宝塚施設長
2	副 理 事 長 常 務 理 事	岸 本 和 夫	公社副理事長 常務理事
3	理 事	今 中 秀 光	宝塚市立病院 病院長
4	理 事	鵜 澤 靖	公社 在宅サービス部 長
5	理 事	小 田 中 理	宝塚市 歯科医師会 理事
6	理 事	浦 野 のり子	宝塚市 第四地区 民児協会長
7	理 事	島 田 康 治	宝塚障害福祉 市民懇談会会長
8	理 事	廣 瀬 哲 司	宝塚市医師会 理事
9	理 事	福 本 芳 博	宝塚市社会福祉 協議会理事長
10	理 事	神 川 智 子	宝塚市薬剤師会 理事
11	理 事	米 田 直 人	公社 管理部長
12	理 事	平 岡 浩 子	公社 施設サービス部 長
13	監 事	柴 崎 崇	宝塚法律事務所 弁護士
14	監 事	平 井 利 文	宝塚市 会計管理者

	名 前	備 考
1	一 圓 光 彌	関西大学 政策創造学部 名誉教授
2	今 西 則 行	宝塚さざんか福祉会 常務理事
3	赤 井 稔	宝塚市 健康福祉部長
4	吉 村 雅 子	宝塚市自治会 連合会理事
5	○ 竹 谷 輝 男	元宝塚市 社会教育委員
6	○ 村 山 眞 子	宝塚市 老人クラブ連合会 会長
7	松 藤 聖 一	こむの事業所 代表理事
8	山 田 精 一	聖隷福祉事業団 執行役員
9	和 田 縉 市 朗	宝塚さくら福祉会 理事長

○ 苦情解決第三者委員

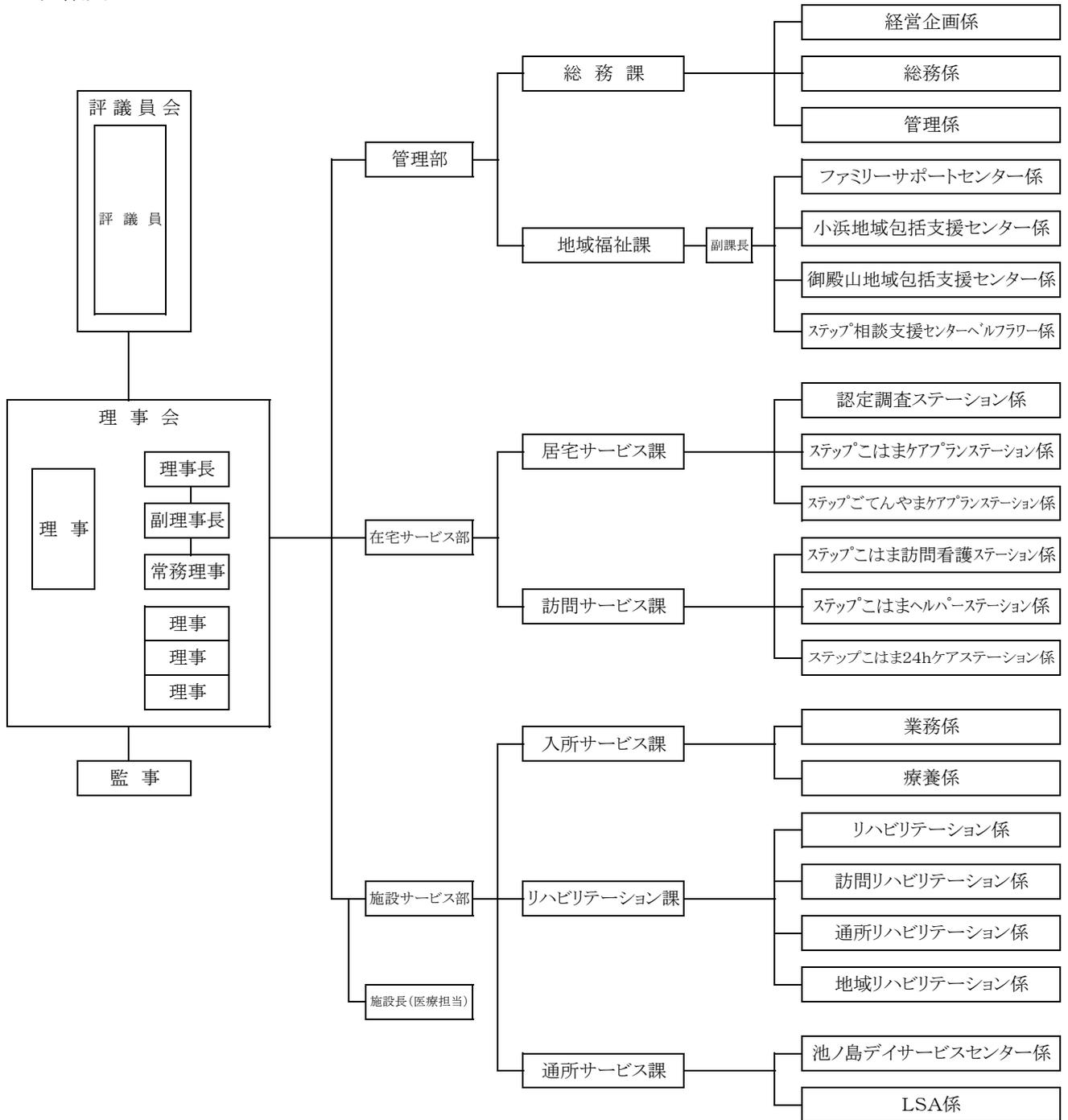
## (2) 職員

2022年3月31日現在

(単位:人)

	理事長 (施設長 兼職)	副理事長 (常務 理事兼 職)	部長	課長	副課長	係長	主任	再雇用	正規職員	臨時職員	合計	構成比
事務職		1	3	7	1	2	2		10	7	33	13.8%
医師	1										1	0.4%
看護師						2	3	1	13	13	32	13.4%
薬剤師										3	3	1.3%
理学療法士						1			5	2	8	3.3%
作業療法士						1			6	1	8	3.3%
言語聴覚士										1	1	0.4%
介護職						6	3	1	26	53	89	37.3%
介護支援専門員							2	2	8	25	37	15.5%
相談員									9		9	3.8%
認定調査員										1	1	0.4%
管理栄養士						1					1	0.4%
運動指導員										3	3	1.3%
設備										2	2	0.8%
清掃										6	6	2.5%
運転手										5	5	2.1%
合計	1	1	3	7	1	13	10	4	77	122	239	
構成比	0.4%	0.4%	1.3%	2.9%	0.4%	5.4%	4.2%	1.7%	32.2%	51.1%		

組織図 2022.3.31



## 4. 事業の実施に関する事項

### (1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等

- ア 保健福祉サービスに対するニーズの把握及び関係機関との調整を行った。
- ・宝塚市介護保険事業者協会 各部会・定例会、研修会等への参加、宝塚市主任介護支援専門員連絡協議会への参画
  - ・宝塚在宅医療交流会、宝塚緩和医療連絡協議会への参加
  - ・宝塚市地域において活動する介護保険、医療保険関係者の協会に加入する等随時、保健福祉関係団体との連絡調整を実施
  - ・社会福祉法人連絡協議会定例会等への参加
  - ・地域包括ケアシステム研究会 ～3つの若葉を育てる会～ 共催者会への参加

### イ 職員全体研修

2021年度はコロナ禍のため職員全体研修は実施せず

### (2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発

#### ア 広報「たからづか」への掲載

- ・育児ファミリーサポートセンター
  - 4月号 ファミリーサポートセンター会員募集
  - 5月号・10月号 ファミリーサポートセンターで子育て支援をしたい人の基礎講習会募集
  - 12月号 ファミリーサポートセンター会員募集
- ・介護ファミリーサポートセンター
  - 4月号・12月号 介護ファミリーサポートセンター会員募集
- ・介護職員初任者研修過程（旧ホームヘルパー2級養成研修）
  - 4月号・9月号 介護職員初任者研修受講生募集
- ・訪問型サービスA事業従事者養成研修
  - 11月号・2月号 生活支援ヘルパー養成研修の受講者を募集

#### イ 公社広報誌

- ・「えがお」No. 53の発行 2021年10月  
特集「兵庫県介護老人保健施設大会で発表しました」

- ・「えがお」No. 54の発行 2022年3月  
特集「宝塚市保健福祉サービス公社の初任者研修卒業生紹介」

ウ 講習会・交流会の開催

- ・ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等（別添資料17P）
- ・介護ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等（別添資料18P）

(3) 介護技術等研修事業

ア 地域に出かけるヒューマンケア講座（認知症サポーター養成講座を含む）

- ・御殿山地域包括支援センターの介護・健康教室（別添資料10P）
- ・小浜地域包括支援センターの介護・健康教室（別添資料12P）

イ 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級養成研修）

15期 2021年5月10日（月）～2021年6月14日（月）  
受講生7名

ウ 訪問型サービスA事業従事者養成研修

11月開講 受講生6名

(4) 訪問看護事業(ステップこはま訪問看護ステーション)

訪問件数は、スタッフ一丸となり、昨年度を240件上回り、年間で当初計画の約1割増しとなりました。医療依存度の高い利用者に対応した結果と考えます。人員体制は、今年度1名増員を予定していましたが、異動や退職があったものの、新人職員を2名迎え、事業規模は昨年と同様となりました。医療依存度の高い利用者に対応した結果、土日や祝日の訪問が増えました。職員の負担軽減のため、次年度も人材採用と業務改善に努めていきます。

質の向上への取り組みについては、職員全員に対し、年1回の公費負担での研修を実施しています。また、ステーション内での勉強会も多数開催しました。自分たちで会を開催することで、スタッフの「伝える力」も向上し、利用者へのかかわりにも反映しています。また、「利用者満足度調査」では、前回の結果より、全体に満足度は高くなったという結果が得られました。利用者の状態を観察し適切なケアを行う、本人や家族の支援といった項目で、ポイントアップし、利用者への丁寧なかかわりが評価されたと考えます。予測的ケアに関する項目では、前回と同様の評価にとどまり、次年度の課題として取り組んでいきます。

新型コロナウイルス関連では、公社内でのワクチン接種、部内の感染予防や感染者の対応の相談業務も行いました。地域貢献として、宝塚市内では新規のコロナ感染者の訪問を行う事業所が少ない中、保健所からの要請を受けコロナ療養者の訪問を行ったり、保健所の疫学調査業務の手伝いに協力するなど、地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

#### (5) 介護老人保健施設事業（ステップハウス宝塚）

2021年度の年間ベッド稼働率平均80.1%、延べ長期入所者23,883人、延べショートステイ利用者683人、超強化型老健算定基準は1年間キープすることが出来ました。

電子カルテ導入により改正に伴う加算（科学的介護推進体制加算、褥瘡マネジメント加算）も9月から取得できました。また、老健管理医師総合診療研修やリスクマネージャー研修など更なる加算取得を目指して必要な研修会への参加も精力的に行いました。

また、同法人訪問看護からの看取り研修を受講し施設職員多職種の看取りに対する知識を深め、施設での看取りケアを2件対応しターミナルケア加算の算定も行うことが出来ました。

新型コロナウイルス感染症への感染予防対策は昨年度より継続し実施していましたが、第6波流行期には防御しきれず2022年1月末から3月上旬にかけて施設内クラスター発生となりました。大きな損失ではありましたが、終息後、感染対策施設対応振り返りプログラムとして宝塚健康福祉事務所、宝塚市立病院感染管理認定看護師等に当施設までご足労いただき、環境ラウンド、助言、質疑応答の場を設け再発防止及び実務に即した業務継続計画（BCP）の作成に繋げることが出来ました。

サービス向上の視点ではコロナ禍での面会方法としてガラス越し面会、ZOOMでのウェブ面会、個室を利用した対面での直接面会、タブレット端末を使用する面会と地域の感染状況を踏まえ制限と緩和を繰り返しながら対応しています。また、気分転換が図れるように日光浴や屋外散歩も実施し、利用者の写真や直筆の手紙などを親族へ郵送し情報発信にも努めました。

深刻な人材不足に対して、介護職外国人労働者雇用を開始し人材育成にも力を入れておりますが依然十分な労働力は確保されておりません。来年度も同様の課題は残る事と予想されますが、その中でも質の高いサービス提供とベッド稼働率向上を目指して業務に取り組んで参ります。

#### (6) 通所リハビリテーション事業

2021年度は介護報酬改正に伴い、リハビリテーションマネジメントをより一層強化してまいりました。利用者の活動性を上げる取り組みとして、機能訓練のみのプログラムを見直し、利用者様が興味や関心・意欲を持たれる取り組みを検討し、行ってまいりました。

取り組みの一例としては、施設内の花壇スペースを活用し、利用者の知恵を借りなが

ら、イチゴ・メロン・ひまわり・トマト・などの植え付け・収穫・クッキング・試食のほか、手作業による作品作り（こちらに関しては介護保険事業者協会の作品展にも応募）、男性でも飽きないよう、張り子やしめ縄作りなど難しい課題への挑戦も行っていただきました。また、脳トレなどの中でも、より難易度の高い課題へ取り組みたい利用者向けに時事問題などを導入した課題を作成し、取り組んでいただきました。また、ご家族にも見ていただけるよう、取り組みの写真は連絡帳内に反映し、持ち帰っていただくほか、ホームページにもアップしています。

2021年度後半には、LIFEデータの送信を行いました。帳票の作成や、内容の確認など膨大な事務作業でしたが、スタッフ一丸となって取り組みました。今後、LIFEデータのフィードバックを日々のケアやリハビリへ還元することも念頭に、ご利用者様の心身機能の拡大・維持を図り、安定した在宅生活を支援していく所存です。

#### （7）訪問リハビリテーション事業

2021年度はリハビリマネジメント加算の上位の報酬を算定すべく、利用者を取りまく事業所・ケアマネジャー・訪問セラピスト・施設医とも連携を強めた関りによる事業展開となりました。リハビリテーションマネジメントの上位の加算の算定に伴い、リハビリ会議を通じて、より利用者の問題点に対する関わり方を見直すことができました。また、電子カルテシステムを活用することで、LIFEデータ送信を2021年度後半に実施することができました。

しかしながら、2021年度はコロナウイルス感染が猛威を振るった時期でもあります。訪問スタッフの家族の感染のため、スタッフの自宅待機も余儀なくされましたが、施設内の応援体制をとることで、訪問の利用者への影響を最小限にとどめることができました。今後も感染予防対策として、標準感染対策のほか、直行・直帰のスタイルや、事務所内の使用エリアの工夫も引き続き行いながら、事業を継続していく所存です。

#### （8）ごてんやま居宅介護支援事業

#### （9）こはま居宅介護支援事業

今年度の大きな取り組みとして、各係で「接遇」「健康管理・環境整備」「財務」「事故防止」「自己成長」「業務改善」の6つの項目に分けての目標を設定しました。2つの事業所がそれぞれ特色を生かした事業所運営ができるよう、スローガンと年間目標を設定し、定期的な振り返りを基に業務の見直しを行いました。収支の面では両居宅とも目標数値には少し届かなかったですが、ケアマネジャーとしてのスキルアップや接遇が意識でき、コロナ感染対応（テレワークを含む）が円滑に行えました。事故・ヒヤリハットについては情報収集や分析に力入れ、次年度への課題抽出にも活かすことができました。また、コロナ禍となり2年目の今年度は各事業所でコロナウイルスの影響もありましたが、定期的な係内ミーティングや毎月行う管理者ミーティング、半年に一度の各係の目標に対する進捗状況の管理等を行うことで、スタッフひとり一人が一定の取り決め

や目標確認ができ、業務に対する困りごとを最小限に抑えることができ、年間を通じて大きな混乱もなく業務を行うことができました。

来年度以降も高齢化社会に対応するべく、両居宅ともに市内で中心的な居宅介護支援事業所の役割を継続するため、他機関、利用者や家族、地域からも信頼される事業所を目指します。又、老人福祉の専門職としてケアマネジャーが担うべき役割を社内向けに発信し深めると共に、今後の人材育成を行うためにも、若い世代でもケアマネジャーとして地域で相談援助ができるような環境を整え、抱え込むことなく安心して働き続ける職場づくりを目指し、地域にお住いの高齢者の生活の質を維持向上できる事業所を目指していきたいと考えています。

#### (10) 訪問介護事業(ステップこはまヘルパーステーション)

今年度上半期は、定期巡回との兼務を継続しており、新規受け入れ等も難しい状況でした。下半期では、定期巡回との住み分けが進んだ1月以降、土日職員の確保ができ毎日の訪問利用者等新規受け入れを積極的に行いました。また、定期巡回から訪問介護への移行等も受け入れる事ができました。訪問看護と連携の取り易さを強みとし新規受け入れも行いました。新たな人員増は困難でしたが、現ヘルパーの働ける時間数や時間帯等の労働条件を見直す事でカバーできました。重度要介護者の割合が利用者全体の40%近くを維持しており、特定事業所加算Ⅰを継続しています。定期巡回と兼務していた事で兼ねてから目標としていた喀痰吸引が出来る事業所として登録する事ができました。

支出面では、訪問介護職員が定期巡回の訪問を行っていた実態に沿って、人件費の按分を見直した事で、上半期では赤字となっていた収支が実際には黒字となりました。

収入面では、コロナ禍の影響か要支援から要介護へ認定が変わる利用者が増え、生活支援から身体ケアへの移行や訪問回数、時間の追加等も多くあり昨年度と比べ常勤換算数は15%減でしたが、利用者数94%・訪問件数96%とほぼ横ばいであり、住み分けが進んだ1月以降の収益増と合わせ黒字に繋がりました。

来年度は、黒字を維持しながら収益増に取り組み、スタッフの技術向上にも力を入れ安心して任せてもらえる事業所を目指します。

#### (11) 通所介護事業(池ノ島デイサービスセンター)

池ノ島デイサービスセンターは通常規模のデイサービスセンターとして事業運営を行っております。新型コロナウイルス感染症の感染予防から利用を控える方も一時期はかなり多くみられましたが、体調管理の徹底および密を避けながらのサービス提供などにより、少ないながらも事業は安定してきました。2021年8月からは、入浴介助加算Ⅱの加算取得を始め、中重度の利用者が増え加算も算定継続しています。

2021年度の実績は、リハビリクラブコースは週5日営業で4月には1日平均利用者数がリハビリクラブコース17.5人で目標の18人を下回るなど、緊急事態宣言等の影響により利用者数が伸び悩みました。また、1日コースは週6日営業で営業活動にも力を

入れ、11月には利用者平均30.4人まで向上しましたが、目標の31.5人には到達できませんでした。

まだまだ、感染症による影響は多くあるものの要介護者の在宅生活が安心安全に過ごせるよう通所介護事業の役割を担っていきたいと思います。

#### (12) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業(ステップこはま24hケアステーション)

今年度は、訪問介護との住み分け(専従化)を更に進め、利用者数は下半期以降減少となりました。人員体制は、4月付の常勤退職があり、体制の充実化・新規獲得に向け求人広告等の活動を行いました。獲得には至りませんでした。利用者の平均介護度は3.9と重度で訪問回数も多いため、新規の受入れは困難な状況となっています。そのため、介護度のバランスも考慮しつつ、可能な限り新規受入を行っていきます。収入面では、ターミナル・緊急時訪問看護加算の算定や医療保険への切替等を適正に行いましたが、前年度より9.7%の減収となり、新型コロナウイルス感染症に関する補助金の交付も受けました。支出面では、訪問介護職員兼務分の人件費を按分した事により、人件費が増額したことで収支は大幅な悪化となりました。来年度以降は介護職の人件費按分は解消され、人件費の減額が見込まれます。

コロナ終息が見えない中、在宅での看取りや困難ケースの受入を行いました。看取った利用者1名については、介護職員による喀痰吸引を実施し、医療依存の高いケースにも対応しました。また、コロナ陽性者への訪問も、継続して行いました。その中、時期を見計らい、利用者の『楽しい時間』が持てるようなイベントを開催しました。

業務の効率化のため、訪問アプリ機能・ワイヤレスイヤホンの活用、職員毎にスマートフォン貸与等を実施し、瞬時に情報共有・ケアの実施が行えるようになりました。

また、兵庫県『ひょうご地域共生型モデル事業』を受託し、地域ボランティアと協働する事で、定期巡回サービスの生産性の向上・ボランティア活動促進に取り組みました。今後とも協働を継続し、生産性の向上を図っていきます。

#### (13) 御殿山地域包括支援センター事業

御殿山地域包括支援センターは、市からの受託事業として第3地区の高齢者の総合相談窓口、また、地域包括ケア推進の中心的役割を担う機関として設置されています。

令和3年度も、多様な相談に対し、本人主体を重視しながら、家族、民生委員、自治会、ボランティアなどの地域住民や地域住民組織、商業施設、介護保険サービス事業所、社会福祉協議会等の関係機関、行政機関と連携して支援を行いました。

認知症サポーター、住民キャラバンメイトと専門職の有志によるグループ(宝塚認知症オレンジロバネットワーク)に参画し、活動紹介と認知症の普及啓発、認知症サポーター養成講座を開催しました。宝塚チャレンジファーム(当事者と共に畑で作物を作る)は、当事者の活動の場所、居場所、当事者の思いを聞く場として定着しつつ

あります。

「認知症にやさしい図書館」の取り組み（中央図書館）に参画し、今年度は市民向け認知症サポーター養成講座、レベルアップ講座を企画開催しました。養成講座は、学校やデイサービス、第一生命関係者や地域のサロンへも行いました。

認知症地域支援推進員として市のチームオレンジに所属し、様々な取り組みをしました。

次年度も、当事者や家族の思い、関係機関、関係者とのつながりを大切に認知症と共生社会に向けて少しずつ進んでいきたいと考えます。

3. 4. 7地区合同でのケアマネジャーの交流会において、地域ケア会議や勉強会等を通し、薬剤師、居宅のケアマネジャー、包括職員における関係づくりの場を設けました。

専門職等におけるネットワークづくりの一環として、様々な機関が参加する地域生活支援会議を開催しました。日常生活圏域での横断的連携や、協働を進めていく場となり、地域社会における複合的な問題を抱えた世帯の支援を行うためには、このような分野を超えた専門職のネットワークづくりがますます必要になると考えられます。次年度は、より幅広い参加者を募り、更なるネットワークを構築していきたいと考えます。

地域活動支援においては、いきいき百歳体操やサロンへ積極的に出向き、後方支援、講座等を行いました。

地区民生児童委員協議会との勉強会では、高齢者虐待や独居高齢者の孤立を防ぐために、地域での見守りの意義を伝え、当センターとの連携を改めて呼びかけました。

また地域住民が集うサロンや婦人会で出張講座を開催し、権利擁護の視点から成年後見制度や高齢者虐待防止の取り組みを紹介するとともに消費者被害や特殊詐欺等への注意喚起を行い、高齢者が安心して暮らせる仕組みについて発信しました。

今年度より法テラス阪神と情報共有および意見交換の場を持ち、特定援助法律相談の活用等について協議するなど、司法相談機関との連携強化をはかりました。

次年度もサロンや地域活動への出張講座などをとおして地域住民への啓発活動を継続し、加えて介護事業者等の専門職への発信も積極的に行っていきたいと考えます。

当年度の実施状況は、別紙のとおりです。

#### （14）小浜地域包括支援センター事業

小浜地域包括支援センターは、市からの受託事業として第4地区の高齢者の総合相談窓口として、また、地域包括ケア推進の中心的役割を担う機関として設置されています。

令和3年度も、続くコロナ禍、地域の民生委員・児童委員との情報交換会の実施やまちづくり協議会、自治会などの地域住民や組織、介護保険サービス事業所、社会福祉協議会等の関係機関、行政機関と連携して相談援助活動等の支援を行いました。

地域活動については「いきいき百歳体操」のグループの活動再開時の支援や、代表・世話人へのフォローを通じ、困りごとや支援が必要な事を把握、行政と情報共有を密にし、支援を継続しました。

認知症に関する取り組みとしては、コロナ禍、離れて暮らす家族から、認知症の進行や発症に関する相談等が増え、地域住民や担当ケアマネジャーとの連携を通じ、本人が、地域で生活する事や公的制度の利用など、本人中心を心がけ、話し合いを重ねることも多くありました。また、認知症地域支援推進として、市のチームオレンジに所属し、認知症にまつわる啓発活動、多職種連携など、協議を重ね活動しました。

3・4地区の薬局と地域ケア会議をZ o o mで開催し、在宅での認知症にまつわる薬のケア、治療との連携等、薬剤師との連携も継続しています。

ケアマネジャー支援としては、「気づきの事例検討会」を実施、地区別活動の形で3・4・7地区のケアマネジャーの定期交流会を継続し、ケアマネジャーのスキルアップとネットワーク構築、支援体制づくりを構築しています。

社会福祉士は、地区内のケアマネジャーに対し、虐待・権利擁護の勉強会を実施しました。今後も、専門職・他機関との連携を深め、地区内外のスキルアップを意識し活動します。

また、機関誌『ぱらそる』を年3回発行し、地域住民や自治会、老人会、商業施設、関係機関、病院・開業医、調剤薬局などに向け、「包括の紹介」、「薬についての困り事」「骨折」をテーマに健康課題の情報発信と包括PRを行いました。

包括の活動全般において、多職種・他機関との連携は必須です。地域生活支援者会議では、地域の専門職間の顔合わせ「チャンネルづくり」を合言葉に、次年度につなげ、障害分野との連携も強化し、生活困窮など複合的なケースにも対応できるよう努めます。

当年度の実施状況は、別紙のとおりです。

#### (15) 障害者指定・特定相談支援事業（ステップ相談支援センター ベルフラワー）

宝塚市より委託相談支援事業所として委託を受けて、3地区の障害相談の窓口として事業運営をしてまいりました。宝塚市直轄の基幹相談支援センターと共に、地域拠点の整備や、地域住民へ向けての周知活動など障害にまつわる地域課題へ取り組んでまいりました。

同時に自立支援協議会へ参加し、相談支援事業所の専門職向け研修の企画運営も行いました。

また、県指定の特定相談支援事業所では、人員が整い新規受付相談も開始することができました。3地区住民からの新規相談には対応が可能な体制となりました。次年度からは、たくさん調整が必要な場合などにも適切な対応ができるスキルを養うとともに次年度に向けて、宝塚市が掲げる地域拠点の整備、障害重点施策の実行など、その動向に沿って、委託相談支援事業としての機能、特定相談支援事業所としての機能を果たしてまいりたいと考えます。

#### (16) シルバーハウジング生活援助員派遣事業

当事業は、宝塚市からの受託事業で、緊急通報システム付きのシルバーハウジングを生活援助員が毎日巡回訪問し安否確認を行っています。

昨年度はターミナル期にある方やコミュニケーションが困難な方などへの関りが増え、地域包括支援センター・担当ケアマネジャーとの連携を随時行い在宅生活支援に努めています。

地域交流会においては、下記の予定で体操の会、LSA主催のレクリエーションをこれまで積極的に行ってききましたが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症にて、密にならないよう参加人数等考慮した内容で、年間7回実施しました。

#### 地域交流会

\*池ノ島第2住宅・泉町住宅他 「ゆのゆの水曜会」

第1・3水曜日体操（運動指導員）

第2・4水曜日レクリエーション（LSA）

#### (17) ファミリーサポートセンター（育児）事業

ファミリーサポートセンター（育児）事業は、宝塚市からの受託事業で、子育て中の家庭を支えるため、仕事と家庭両立支援特別援助事業として、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」がお互い会員となって、地域において相互援助活動を行っています。

活動料金（報酬）は下表を基準とした有償ボランティアであり、交通費については実費、その他かかった費用についても依頼会員が支払います。

令和1年より介護ファミリーサポートセンターと事務所を合併、令和3年8月より人員体制が新たになり、介護ファミリーサポートセンターとの協力体制を強化しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた、活動件数が回復傾向にあります。サポート内容が感染拡大前と比べ、保護者の育児への強い負担感軽減を目的としたサポートや、複雑な家庭事情によるもの、保護者の精神疾患等が増えています。それに伴い、関係機関との連携が不可欠で、各機関の担当者への詳しい事業説明を行い、センター内でケースを終わらせず繋がりの中でのサポートになるようにしています。その一環として、第3・4地区の地域福祉会議に出席し幅広い福祉分野の専門職の方との交流をしています。提供会員のサポートに対する不安感を軽減するために、必要であると判断した場合事前打ち合わせだけでなく、初回活動にアドバイザーが同行しました。

#### ○活動報酬

内容	1時間当たりの報酬額
----	------------

基本時間 7 : 00 ~ 20 : 00	700 円
上記時間以外	900 円

※なお、ひとり親家庭等でファミリーサポートセンター事業を利用した場合は、月 10 時間までのサポート料金が宝塚市より助成されます。

#### ○会員

**依頼会員**・・・宝塚市在住、在勤及び伊丹市、川西、猪名川町、三田市在住で 0 才から小学 6 年生の子どものいる人

**提供会員**・・・子どもの好きな人、育児経験のある人

**両方会員**・・・提供と依頼のどちらでもできる人

#### (18) 介護ファミリーサポートセンター事業

宝塚市介護ファミリーサポートセンター事業は、宝塚市からの受託事業であり、高齢者等に対する簡易で、補助的な援助を行う会員同士の相互援助活動です。

援助内容は、高齢者等が日常生活を送る上で、なんらかの手助けがあれば地域で自立して生活できる際の援助、病気怪我などの際の援助、その他センターで認める範囲内で必要な援助を行います。利用料金（報酬）は下表を基準とした有償ボランティアであり、交通費については、実費、その他かかった費用についても依頼会員が支払います。

令和 1 年より宝塚市ファミリーサポートセンター（育児）と事務所を合併し、令和 3 年 8 月より人員体制が新たになり、ファミリーサポートセンターとの協力体制を強化しています。新型コロナウイルス感染症が蔓延する以前に比べて活動件数が 1600 件減少しているのが現状です。サポート内容は、掃除、通院介助、見守り・話し相手の順で活動件数が多くあります。依頼者の要件は、概ね 65 歳以上の市民としていますが、疾患により介護保険を利用されている 65 歳以下の方のサポートも行いました。

感染状況を鑑み、講習会・交流会を中止しましたが、提供会員の資質向上、会員とセンターの心理的距離を縮めることを目的とした、通信を発行しました。紙面には、ステップハウス担当管理栄養士による施設の食事紹介を掲載し、公社の紹介も兼ねる内容としました。その他、関係機関との関係構築をねらいとして、3・4 地区の地域生活支援会議に参加し福祉専門職の方と交流をしています。センターの知名度を上げる為や正しい事業内容の周知の為に個別に説明を行っています。

#### ○活動報酬

活 動 時 間	1 時間あたりの報酬額
基本時間 7 : 00 ~ 20 : 00	700 円
上記時間以外	900 円

**年会費**・・・依頼会員は年会費が必要。入会時および年度ごとの更新時に、4月～翌年3月分の会費として3,600円。10月～3月の間に新規入会された方は、その年度に限り年会費を半額（1,800円）とする。

○会員

**依頼会員**・・・市内に住んでいる概ね65歳以上の高齢者で援助が必要な方

**提供会員**・・・依頼会員の要望に応じて、介護に関する相互援助活動を行いたい方

(19) 言語訓練事業(話学会)

当事業は、宝塚市からの受託事業で言語聴覚士が主体となり集団での言語療法を行っています。また会場責任者として公社からは療法士が同席しています。

2021年度は登録者が3名で教室を継続中です。利用者のみでなく、その方を支えるご家族の集いの場ともなっています。

(利用できる方) 40歳以上の者で脳血管障害後遺症などにより言語障害を有する者で医療終了後も言語訓練が必要な方

(会場) 市内1会場において実施

火(1回/月): 総合福祉センター

※2021年度は会場都合で中止になった以外は、上半期・下半期とも事業を中止することなく継続できております。前年度に引き続き、言語聴覚士出演のDVDを使って全教室を開催いたしました。下半期には、前年度に実施できなかった宝塚リハビリテーション病院から医師による出務、言語聴覚士の先生にも2回出務いただくことができました。

(20) 介護予防普及啓発事業(いきいき百歳体操)

当事業は、高知県高知市発祥の介護予防運動「いきいき百歳体操」を地域住民が主体となって取り組んでいただく宝塚市主催の事業です。宝塚市の依頼を受け、運動の指導と管理の為、公社より療法士と看護師を派遣しています。

2021年度は、感染対策を行いながら、事業を実施いたしました。療法士は合計59回出務、看護師は39回の出務でした。また、3月には、宝塚市独自のいき百DVDの制作協力のため療法士を派遣しています。

今後も事業が円滑に進むように各機関と連携していく所存です。

(21) ステップはつらつ体操教室

当事業は、はつらつ高齢者の会の事業の受け皿(高齢者のための体操教室)として介護予防を目的に、運動指導員と療法士または看護師が関わり、運営しております。継続して通っていただくことで、利用者同士でコミュニケーションをとれる集いの場にもな

っています。

2021年度は、感染対策などの観点から休止が続いていた1教室を整理し、今後は8会場での開催を継続することにいたしました。5月には全教室を一旦中止いたしました。5月以降は、会場都合での中止以外は、年度を通して8割の会場にて開催を継続することができました。

## (22) 認定調査ステーション

認定調査ステーションは、宝塚市から唯一「事務受託法人」として委託を受け、要介護・要支援の認定を受けようとする市内全域の新規及び担当地域の更新・区分変更の申請者の認定調査、および住民票が他市のまま宝塚市内にお住まいの新規・更新申請者の認定調査業務も実施しました。今年度のトータル調査件数は5000件を超えコロナウイルスの感染対策で減少していた昨年度より600件以上多い件数となりました。

今年度もコロナ禍での業務を安全に継続するため、様々な取り組みを行いました。まず、感染対策として日頃からスタッフの体調管理を実施し、密にならないよう在宅ワークを積極的に取り入れながら業務を行いました。又、業務改善としては管理体制の効率化と強化を行うためクラウド型のソフトの導入や全スタッフに携帯電話の貸与などを行いました。さらに、調査員のスキルアップのため宝塚市のオンライン研修への参加や、係内ミーティングを活用した情報共有、またスタッフが主体的に取り組めるようなグループワークを行うなど職員同士のつながりと専門性の強化に取り組みました。

来年度は調査員の給与体制の変更を実施するため、スタッフがより働きやすく落ち着いた環境で業務が行えるよう取り組みます。『ちいさな事でも声を掛け合い、共に成長できる認定調査ステーションを目指します!!』をスローガンとして今年度以上に丁寧な対応に努め、自信と誇りをもった調査が行えるよう取り組んでいきたいと考えています。

## (23) 視察等受入状況

### ア) 視察・施設見学内容

2021年度は受入実績なし

### イ) 実習・体験学習受入内容

#### ステップこはま訪問看護ステーション

5/18～25	宝塚市立看護専門学校	2人
6/8～15	宝塚市立看護専門学校	2人
6/29～7/6	宝塚市立看護専門学校	2人
7/19～27	宝塚市立看護専門学校	2人
8/30～9/6	宝塚市立看護専門学校	2人
9/21～28	宝塚市立看護専門学校	2人
10/19～26	宝塚市立看護専門学校	1人

1/24～28	訪問看護ステーションさくら	1人
計 8 件		14人

ステップこはまケアプランステーション

5/17	宝塚市立看護専門学校	1人
6/7	宝塚市立看護専門学校	1人
6/28	宝塚市立看護専門学校	1人
7/16	宝塚市立看護専門学校	1人
9/7	宝塚市立看護専門学校	1人
9/17	宝塚市立看護専門学校	1人
計 6 件		6人

ステップごてんやまケアプランステーション

5/17	宝塚市立看護専門学校	1人
6/7	宝塚市立看護専門学校	1人
6/28	宝塚市立看護専門学校	1人
7/16	宝塚市立看護専門学校	1人
9/7	宝塚市立看護専門学校	1人
9/17	宝塚市立看護専門学校	1人
10/18	宝塚市立看護専門学校	1人
計 7 件		7人

小浜地域包括支援センター

5/14	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
6/4	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
6/25	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
7/15	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
8/27	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
9/16	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
計 6 件		6人

御殿山地域包括支援センター

5/14	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
6/4	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
6/25	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
7/4	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人

7/15	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
8/27	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
9/16	市立看護学校学生 在宅看護論実習	1人
10/15	市立看護学校学生 在宅看護論実習	2人
計 8 件		9人

2021年度  
決算報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

# 正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	5,134	39,187	△ 34,053
基本財産受取利息	5,134	39,187	△ 34,053
特定資産運用益	0	9,818	△ 9,818
特定資産受取利息	0	9,818	△ 9,818
受取会費	363,000	343,800	19,200
事業収益	1,106,202,103	1,047,980,893	58,221,210
受取補助金等	1,217,938	19,345,230	△ 18,127,292
受取助成金	100,000	17,357,568	△ 17,257,568
受取補助金	892,000	1,361,250	△ 469,250
受取補助金等振替額	225,938	626,412	△ 400,474
受取寄附金	6,000	16,000	△ 10,000
雑収益	13,079,381	20,852,970	△ 7,773,589
経常収益計	1,120,873,556	1,088,587,898	32,285,658
(2)経常費用			
事業費	1,116,515,606	1,133,378,149	△ 16,862,543
役員報酬	4,299,480	4,839,480	△ 540,000
給料手当	469,519,675	470,648,521	△ 1,128,846
臨時雇賃金	217,897,461	234,680,889	△ 16,783,428
法定福利費	107,174,684	110,546,063	△ 3,371,379
賞与引当金繰入額	49,161,995	49,805,070	△ 643,075
退職給付費用	33,714,655	25,419,230	8,295,425
福利厚生費	2,727,813	3,088,971	△ 361,158
職員被服費	325,688	271,110	54,578
旅費交通費	289,055	278,085	10,970
通信運搬費	11,108,990	10,634,260	474,730
減価償却費	18,587,018	17,780,912	806,106
消耗品費	15,940,566	20,634,329	△ 4,693,763
医薬品費	4,373,775	3,369,047	1,004,728
食糧費	2,731,778	2,043,615	688,163
修繕費	3,446,387	7,059,678	△ 3,613,291
印刷製本費	735,317	586,529	148,788
燃料費	4,307,506	3,589,682	717,824
光熱水料費	35,812,481	31,896,273	3,916,208
賃借料	23,733,753	28,885,171	△ 5,151,418
保険料	2,897,518	3,349,730	△ 452,212
支払負担金	77,000	56,000	21,000
諸謝金	6,722,961	6,011,171	711,790
租税公課	6,660,417	5,926,959	733,458
報償費	44,600	0	44,600
委託費	89,154,463	87,139,636	2,014,827
地域交流費	95,134	195,045	△ 99,911
研修費	816,880	670,310	146,570
諸会費	790,870	800,870	△ 10,000
手数料	2,390,026	2,587,092	△ 197,066
支払利息	958,540	534,653	423,887
雑費	19,120	49,768	△ 30,648

# 正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	15,422,221	18,039,377	△ 2,617,156
役員報酬	905,720	837,320	68,400
給料手当	3,215,588	4,450,595	△ 1,235,007
臨時雇賃金	0	174,955	△ 174,955
法定福利費	657,537	909,382	△ 251,845
賞与引当金繰入額	343,505	497,630	△ 154,125
退職給付費用	262,835	241,628	21,207
福利厚生費	29,269	35,947	△ 6,678
採用費	5,862,450	2,439,049	3,423,401
職員被服費	352	425	△ 73
旅費交通費	1,115	585	530
通信運搬費	48,507	38,525	9,982
減価償却費	138,083	122,942	15,141
消耗品費	183,880	440,668	△ 256,788
修繕費	1,476,600	3,892,568	△ 2,415,968
印刷製本費	15,655	19,030	△ 3,375
燃料費	1,265	1,007	258
光熱水料費	48,000	48,613	△ 613
賃借料	110,605	1,678,291	△ 1,567,686
保険料	159,876	159,195	681
諸謝金	760,465	706,100	54,365
租税公課	100,716	108,216	△ 7,500
委託費	654,425	719,083	△ 64,658
研修費	254,700	146,100	108,600
諸会費	11,430	11,430	0
手数料	136,785	355,382	△ 218,597
支払利息	19,973	4,711	15,262
雑費	22,885	0	22,885
経常費用計	1,131,937,827	1,151,417,526	△ 19,479,699
当期経常増減額	△ 11,064,271	△ 62,829,628	51,765,357
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	33,709	606,887	△ 573,178
経常外費用計	33,709	606,887	△ 573,178
当期経常外増減額	△ 33,709	△ 606,887	573,178
税引前当期一般正味財産増減額	△ 11,097,980	△ 63,436,515	52,338,535
法人税、住民税及び事業税	82,000	1,707,500	△ 1,625,500
当期一般正味財産増減額	△ 11,179,980	△ 65,144,015	53,964,035
一般正味財産期首残高	210,853,356	275,997,371	△ 65,144,015
一般正味財産期末残高	199,673,376	210,853,356	△ 11,179,980
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取補助金	5,271,000	0	5,271,000
一般正味財産への振替額	△ 225,938	△ 626,412	400,474
当期指定正味財産増減額	5,045,062	△ 626,412	5,671,474
指定正味財産期首残高	200,038,529	200,664,941	△ 626,412
指定正味財産期末残高	205,083,591	200,038,529	5,045,062
III 正味財産期末残高	404,756,967	410,891,885	△ 6,134,918

## 正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計			小計	その他会計		法人会計	合計
	継1	継2	継3		他1	小計		
	教育・啓発事業	地域福祉 サポート事業	認定調査事業		介護保険事業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	5,134	5,134
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	5,134	5,134
受取会費	0	363,000	0	363,000	0	0	0	363,000
事業収益	574,256	36,044,459	28,852,120	65,470,835	1,040,731,268	1,040,731,268	0	1,106,202,103
受取補助金等	0	0	0	0	1,217,938	1,217,938	0	1,217,938
受取助成金	0	0	0	0	100,000	100,000	0	100,000
受取補助金	0	0	0	0	892,000	892,000	0	892,000
受取補助金等振替額	0	0	0	0	225,938	225,938	0	225,938
受取寄附金	0	0	0	0	6,000	6,000	0	6,000
雑収益	0	14,621	0	14,621	12,559,599	12,559,599	505,161	13,079,381
経常収益計	574,256	36,422,080	28,852,120	65,848,456	1,054,514,805	1,054,514,805	510,295	1,120,873,556
(2) 経常費用								
事業費	7,091,650	46,515,576	32,648,935	86,256,161	1,030,259,445	1,030,259,445	0	1,116,515,606
役員報酬	382,176	286,632	143,316	812,124	3,487,356	3,487,356	0	4,299,480
給料手当	3,871,155	15,040,723	5,658,031	24,569,909	444,949,766	444,949,766	0	469,519,675
臨時雇賃金	0	13,471,465	18,785,245	32,256,710	185,640,751	185,640,751	0	217,897,461
法定福利費	612,723	4,374,972	2,283,455	7,271,150	99,903,534	99,903,534	0	107,174,684
賞与引当金繰入額	274,803	1,639,478	887,696	2,801,977	46,360,018	46,360,018	0	49,161,995
退職給付費用	210,272	1,249,416	452,192	1,911,880	31,802,775	31,802,775	0	33,714,655
福利厚生費	23,416	155,404	136,319	315,139	2,412,674	2,412,674	0	2,727,813
職員被服費	282	14,070	11,216	25,568	300,120	300,120	0	325,688
旅費交通費	893	29,130	17,195	47,218	241,837	241,837	0	289,055
通信運搬費	44,105	1,242,987	383,021	1,670,113	9,438,877	9,438,877	0	11,108,990
減価償却費	0	11,920	8,281	20,201	18,566,817	18,566,817	0	18,587,018
消耗品費	137,830	892,890	132,239	1,162,959	14,777,607	14,777,607	0	15,940,566
医薬品費	0	0	0	0	4,373,775	4,373,775	0	4,373,775
食糧費	0	0	0	0	2,731,778	2,731,778	0	2,731,778
修繕費	5,949	26,817	161,461	194,227	3,252,160	3,252,160	0	3,446,387
印刷製本費	75,228	390,940	4,698	470,866	264,451	264,451	0	735,317
燃料費	1,011	42,333	54,003	97,347	4,210,159	4,210,159	0	4,307,506
光熱水料費	38,400	180,839	14,400	233,639	35,578,842	35,578,842	0	35,812,481
賃借料	88,488	1,093,089	1,000,419	2,181,996	21,551,757	21,551,757	0	23,733,753
保険料	10,984	808,397	73,166	892,547	2,004,971	2,004,971	0	2,897,518
支払負担金	0	77,000	0	77,000	0	0	0	77,000
諸謝金	570,883	603,788	214,081	1,388,752	5,334,209	5,334,209	0	6,722,961
租税公課	83,935	2,306,496	1,967,967	4,358,398	2,302,019	2,302,019	0	6,660,417
報償費	0	33,000	0	33,000	11,600	11,600	0	44,600
委託費	524,402	1,977,187	196,329	2,697,918	86,456,545	86,456,545	0	89,154,463
地域交流費	0	95,134	0	95,134	0	0	0	95,134
研修費	0	500	0	500	816,380	816,380	0	816,880
諸会費	9,144	6,858	3,429	19,431	771,439	771,439	0	790,870
手数料	109,542	452,089	54,765	616,396	1,773,630	1,773,630	0	2,390,026
支払利息	15,976	11,982	5,991	33,949	924,591	924,591	0	958,540
雑費	53	40	20	113	19,007	19,007	0	19,120
管理費	0	0	0	0	0	0	15,422,221	15,422,221
役員報酬	0	0	0	0	0	0	905,720	905,720
給料手当	0	0	0	0	0	0	3,215,588	3,215,588
法定福利費	0	0	0	0	0	0	657,537	657,537
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	343,505	343,505
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	262,835	262,835
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	29,269	29,269
採用費	0	0	0	0	0	0	5,862,450	5,862,450
職員被服費	0	0	0	0	0	0	352	352
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	1,115	1,115
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	48,507	48,507
減価償却費	0	0	0	0	0	0	138,083	138,083
消耗品費	0	0	0	0	0	0	183,880	183,880
修繕費	0	0	0	0	0	0	1,476,600	1,476,600
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	15,655	15,655
燃料費	0	0	0	0	0	0	1,265	1,265
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	110,605	110,605
保険料	0	0	0	0	0	0	159,876	159,876
諸謝金	0	0	0	0	0	0	760,465	760,465
租税公課	0	0	0	0	0	0	100,716	100,716
委託費	0	0	0	0	0	0	654,425	654,425
研修費	0	0	0	0	0	0	254,700	254,700
諸会費	0	0	0	0	0	0	11,430	11,430
手数料	0	0	0	0	0	0	136,785	136,785
支払利息	0	0	0	0	0	0	19,973	19,973
雑費	0	0	0	0	0	0	22,885	22,885
経常費用計	7,091,650	46,515,576	32,648,935	86,256,161	1,030,259,445	1,030,259,445	15,422,221	1,131,937,827
当期経常増減額	△ 6,517,394	△ 10,093,496	△ 3,796,815	△ 20,407,705	24,255,360	24,255,360	△ 14,911,926	△ 11,064,271
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	0	0	0	33,709	33,709	0	33,709
経常外費用計	0	0	0	0	33,709	33,709	0	33,709
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 33,709	△ 33,709	0	△ 33,709
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,517,394	△ 10,093,496	△ 3,796,815	△ 20,407,705	24,221,651	24,221,651	△ 14,911,926	△ 11,097,980
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	82,000	82,000
当期一般正味財産増減額	△ 6,517,394	△ 10,093,496	△ 3,796,815	△ 20,407,705	24,221,651	24,221,651	△ 14,993,926	△ 11,179,980
<b>II 指定正味財産増減の部</b>								
受取補助金等								
受取補助金	0	0	0	0	5,271,000	5,271,000	0	5,271,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 225,938	△ 225,938	0	△ 225,938
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	5,045,062	5,045,062	0	5,045,062

正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科 目	実施事業等会計										小計
	継1				継2				継3		
	普及啓発	実習受入	ヘルパー 養成研修	教育・啓発事業	シルバー ハウジング	育児ファミリー	介護ファミリー	通所型介護予防	地域福祉 サポート事業	認定調査事業	
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	106,800	467,456	574,256	15,573,045	10,199,000	7,865,916	2,406,498	363,000	36,044,459	28,852,120
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	1,551	13,070	14,621	0	0
経常収益計	0	106,800	467,456	574,256	15,573,045	10,199,000	8,230,467	2,419,568	36,422,080	28,852,120	65,848,456
(2) 経常費用											
事業費	2,127,211	2,478,948	2,485,491	7,091,650	16,797,493	11,758,589	9,629,573	8,329,921	46,515,576	32,648,935	86,256,161
役員報酬	143,316	95,544	143,316	382,176	95,544	47,772	95,544	47,772	286,632	143,316	812,124
給料手当	964,676	1,668,282	1,238,197	3,871,155	4,489,721	4,189,883	2,587,935	3,773,184	15,040,723	5,658,031	24,569,909
臨時雇賃金	0	0	0	0	5,225,462	3,253,560	2,981,376	2,011,067	13,471,465	18,785,245	32,256,710
法定福利費	197,261	201,729	213,733	612,723	1,667,886	1,256,808	754,373	695,905	4,374,972	2,283,455	7,271,150
賞与引当金繰入額	103,051	68,701	103,051	274,803	561,339	545,050	98,701	434,388	1,639,478	887,696	2,801,977
退職給付費用	78,852	52,568	78,852	210,272	328,287	323,626	249,690	347,813	1,249,416	452,192	1,911,880
福利厚生費	8,781	5,854	8,781	23,416	32,953	22,364	36,460	63,627	155,404	136,319	315,139
職員被服費	106	70	106	282	9,530	915	1,830	1,795	14,070	11,216	25,568
旅費交通費	335	223	335	893	1,023	14,632	13,363	112	29,130	17,195	47,218
通信運搬費	14,552	9,701	19,852	44,105	148,888	556,170	430,193	107,736	1,242,987	383,021	1,670,113
減価償却費	0	0	0	0	0	819	11,101	0	11,920	8,281	20,201
消耗品費	16,771	11,180	109,879	137,830	596,737	70,423	216,230	9,500	892,890	132,239	1,162,959
医薬品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	2,231	1,487	2,231	5,949	15,887	744	1,487	8,699	26,817	161,461	194,227
印刷製本費	67,398	3,132	4,698	75,228	3,132	206,950	179,292	1,566	390,940	4,698	470,866
燃料費	379	253	379	1,011	11,358	126	23,338	7,511	42,333	54,003	97,347
光熱水料費	14,400	9,600	14,400	38,400	161,639	4,800	9,600	4,800	180,839	14,400	233,639
賃借料	33,183	22,122	33,183	88,488	128,438	287,640	599,779	77,232	1,093,089	1,000,419	2,181,996
保険料	4,119	2,746	4,119	10,984	22,276	489,302	290,406	6,413	808,397	73,166	892,547
支払負担金	0	0	0	0	0	77,000	0	0	77,000	0	77,000
諸謝金	214,081	142,721	214,081	570,883	142,721	246,986	142,721	71,360	603,788	214,081	1,388,752
租税公課	16,913	18,498	48,524	83,935	1,411,651	5,638	719,952	169,255	2,306,496	1,967,967	4,358,398
報償費	0	0	0	0	0	0	0	33,000	33,000	0	33,000
委託費	196,329	130,886	197,187	524,402	1,609,286	137,515	130,886	99,500	1,977,187	196,329	2,697,918
地域交流費	0	0	0	0	95,134	0	0	0	95,134	0	95,134
研修費	0	0	0	0	0	0	0	500	500	0	500
諸会費	3,429	2,286	3,429	9,144	2,286	1,143	2,286	1,143	6,858	3,429	19,431
手数料	41,037	27,358	41,147	109,542	32,308	16,719	49,023	354,039	452,089	54,765	616,396
支払利息	5,991	3,994	5,991	15,976	3,994	1,997	3,994	1,997	11,982	5,991	33,949
雑費	20	13	20	53	13	7	13	7	40	20	113
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採用費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員被服費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	2,127,211	2,478,948	2,485,491	7,091,650	16,797,493	11,758,589	9,629,573	8,329,921	46,515,576	32,648,935	86,256,161
当期経常増減額	△ 2,127,211	△ 2,372,148	△ 2,018,035	△ 6,517,394	△ 1,224,448	△ 1,559,589	△ 1,399,106	△ 5,910,353	△ 10,093,496	△ 3,796,815	△ 20,407,705
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,127,211	△ 2,372,148	△ 2,018,035	△ 6,517,394	△ 1,224,448	△ 1,559,589	△ 1,399,106	△ 5,910,353	△ 10,093,496	△ 3,796,815	△ 20,407,705
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,127,211	△ 2,372,148	△ 2,018,035	△ 6,517,394	△ 1,224,448	△ 1,559,589	△ 1,399,106	△ 5,910,353	△ 10,093,496	△ 3,796,815	△ 20,407,705
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金等											
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科 目	その他会計							
	他 1							
	訪問看護	介護老人 保健施設	通所リハビリ	訪問リハビリ	ごてんやま 居宅介護	こはま居宅介護	こはま訪問介護	通所介護
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	74,673,029	388,966,141	95,489,057	17,210,907	46,959,394	44,247,988	60,237,282	121,439,450
受取補助金等	60,000	347,412	10,000	5,000	0	10,000	155,000	10,000
受取助成金	0	100,000	0	0	0	0	0	0
受取補助金	60,000	60,000	10,000	5,000	0	10,000	155,000	10,000
受取補助金等振替額	0	187,412	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	6,000
雑収益	68,671	9,987,529	9,010	3,350	303,000	6,000	42,490	1,679,789
経常収益計	74,801,700	399,301,082	95,508,067	17,219,257	47,262,394	44,263,988	60,434,772	123,135,239
(2) 経常費用								
事業費	65,500,096	397,878,100	87,127,433	13,304,727	46,301,948	34,992,204	55,898,246	126,884,126
役員報酬	191,088	1,289,844	429,948	47,772	143,316	143,316	238,860	573,264
給料手当	33,033,951	179,645,322	26,807,465	6,437,601	16,493,375	13,732,945	22,814,037	42,330,091
臨時雇賃金	13,642,034	29,277,199	24,329,299	3,387,309	15,765,099	11,754,654	18,449,666	31,109,916
法定福利費	7,699,846	33,915,806	8,245,680	1,698,814	5,493,753	4,448,685	4,705,625	11,335,078
賞与引当金繰入額	3,197,695	18,138,159	3,841,227	700,567	1,839,441	1,614,341	2,549,278	4,567,271
退職給付費用	2,367,008	12,463,528	2,143,487	489,328	1,120,401	758,871	1,375,942	3,449,120
福利厚生費	189,662	868,018	173,833	30,801	81,666	68,875	291,577	276,645
職員被服費	3,661	121,015	36,232	6,030	106	106	9,086	104,647
旅費交通費	16,686	32,293	1,704	642	31,315	6,745	3,568	8,399
通信運搬費	1,689,023	1,097,294	184,116	77,637	658,251	515,913	866,748	629,389
減価償却費	475,324	7,892,390	2,492,921	49,349	368,568	172,956	1,057,300	3,712,434
消耗品費	556,110	8,764,577	915,546	18,365	427,991	243,298	539,366	1,312,102
医薬品費	0	4,322,382	44,815	6,578	0	0	0	0
食糧費	0	1,901,959	231,126	0	0	0	0	595,892
修繕費	161,521	1,837,189	78,147	22,355	27,131	61,826	245,676	451,493
印刷製本費	6,263	144,127	14,093	1,566	4,698	4,698	7,829	44,864
燃料費	205,884	5,609	1,116,138	33,779	73,170	34,214	276,079	2,101,452
光熱水料費	139,200	23,316,824	5,825,773	4,800	236,561	134,400	144,000	5,218,865
賃借料	705,350	2,607,253	2,196,492	100,911	2,472,257	715,521	1,149,091	4,643,005
保険料	199,427	242,249	281,118	30,028	135,509	63,539	142,117	540,562
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	285,442	1,976,731	642,244	71,360	214,081	214,081	356,802	856,325
租税公課	29,114	1,682,323	200,427	5,788	37,065	27,319	95,355	159,252
報償費	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	261,772	64,737,351	6,585,603	65,443	577,041	196,329	327,215	12,259,249
地域交流費	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	219,770	151,550	49,250	0	39,500	24,400	30,000	48,780
諸会費	50,947	640,236	13,662	1,143	6,804	6,804	9,090	17,091
手数料	165,303	592,070	130,029	14,757	43,402	42,357	193,958	318,816
支払利息	7,989	213,006	116,999	1,997	5,991	5,991	9,986	218,536
雑費	26	1,796	59	7	5,456	20	9,995	1,588
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
採用費	0	0	0	0	0	0	0	0
職員被服費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	65,500,096	397,878,100	87,127,433	13,304,727	46,301,948	34,992,204	55,898,246	126,884,126
当期経常増減額	9,301,604	1,422,982	8,380,634	3,914,530	960,446	9,271,784	4,536,526	△ 3,748,887
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	1	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	1	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	△ 1	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	9,301,604	1,422,981	8,380,634	3,914,530	960,446	9,271,784	4,536,526	△ 3,748,887
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	9,301,604	1,422,981	8,380,634	3,914,530	960,446	9,271,784	4,536,526	△ 3,748,887
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
受取補助金	0	5,271,000	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	△ 187,412	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	5,083,588	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	その他会計					小計	法人会計	合計
	定期巡回	ベルフラワー	御殿山地域包括	小浜地域包括	介護保険事業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	5,134	5,134
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	5,134	5,134
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	363,000
事業収益	64,058,106	24,097,452	57,656,814	45,695,648	1,040,731,268	1,040,731,268	0	1,106,202,103
受取補助金等	620,526	0	0	0	1,217,938	1,217,938	0	1,217,938
受取助成金	0	0	0	0	100,000	100,000	0	100,000
受取補助金	582,000	0	0	0	892,000	892,000	0	892,000
受取補助金等振替額	38,526	0	0	0	225,938	225,938	0	225,938
受取寄附金	0	0	0	0	6,000	6,000	0	6,000
雑収益	339,760	60,000	60,000	0	12,559,599	12,559,599	505,161	13,079,381
経常収益計	65,018,392	24,157,452	57,716,814	45,695,648	1,054,514,805	1,054,514,805	510,295	1,120,873,556
(2) 経常費用								
事業費	70,235,244	29,099,168	57,846,668	45,191,485	1,030,259,445	1,030,259,445	0	1,116,515,606
役員報酬	191,088	47,772	47,772	143,316	3,487,356	3,487,356	0	4,299,480
給料手当	29,062,276	18,416,983	30,125,467	26,050,253	444,949,766	444,949,766	0	469,519,675
臨時雇賃金	23,518,207	0	9,883,628	4,523,740	185,640,751	185,640,751	0	217,897,461
法定福利費	7,548,320	3,291,139	6,352,858	5,167,930	99,903,534	99,903,534	0	107,174,684
賞与引当金繰入額	2,607,488	1,797,350	2,757,250	2,749,951	46,360,018	46,360,018	0	49,161,995
退職給付費用	2,211,614	1,331,428	2,245,830	1,846,218	31,802,775	31,802,775	0	33,714,655
福利厚生費	158,085	55,322	122,904	95,286	2,412,674	2,412,674	0	2,727,813
職員被服費	7,511	3,775	35	7,916	300,120	300,120	0	325,688
旅費交通費	1,846	107,282	12,152	19,205	241,837	241,837	0	289,055
通信運搬費	1,047,653	650,267	1,232,565	790,021	9,438,877	9,438,877	0	11,108,990
減価償却費	891,703	122,743	248,267	1,082,862	18,566,817	18,566,817	0	18,587,018
消耗品費	659,054	238,139	568,151	534,908	14,777,607	14,777,607	0	15,940,566
医薬品費	0	0	0	0	4,373,775	4,373,775	0	4,373,775
食糧費	0	0	0	2,801	2,731,778	2,731,778	0	2,731,778
修繕費	151,355	36,773	80,469	98,225	3,252,160	3,252,160	0	3,446,387
印刷製本費	6,263	1,566	8,826	19,658	264,451	264,451	0	735,317
燃料費	153,619	84,056	73,386	52,773	4,210,159	4,210,159	0	4,307,506
光熱水料費	19,200	115,977	228,842	194,400	35,578,842	35,578,842	0	35,812,481
賃借料	566,981	2,300,594	3,119,727	974,575	21,551,757	21,551,757	0	23,733,753
保険料	88,107	67,708	130,283	84,324	2,004,971	2,004,971	0	2,897,518
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	77,000
諸謝金	360,342	71,360	71,360	214,081	5,334,209	5,334,209	0	6,722,961
租税公課	26,773	10,195	9,695	18,713	2,302,019	2,302,019	0	6,660,417
報償費	0	0	5,800	5,800	11,600	11,600	0	44,600
委託費	569,505	264,379	416,329	196,329	86,456,545	86,456,545	0	89,154,463
地域交流費	0	0	0	0	0	0	0	95,134
研修費	74,600	31,500	45,500	101,530	816,380	816,380	0	816,880
諸会費	19,947	1,143	1,143	3,429	771,439	771,439	0	790,870
手数料	115,131	49,713	56,425	51,669	1,773,630	1,773,630	0	2,390,026
支払利息	178,550	1,997	1,997	161,552	924,591	924,591	0	958,540
雑費	26	7	7	20	19,007	19,007	0	19,120
管理費	0	0	0	0	0	0	15,422,221	15,422,221
役員報酬	0	0	0	0	0	0	905,720	905,720
給料手当	0	0	0	0	0	0	3,215,588	3,215,588
法定福利費	0	0	0	0	0	0	657,537	657,537
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	343,505	343,505
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	262,835	262,835
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	29,269	29,269
採用費	0	0	0	0	0	0	5,862,450	5,862,450
職員被服費	0	0	0	0	0	0	352	352
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	1,115	1,115
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	48,507	48,507
減価償却費	0	0	0	0	0	0	138,083	138,083
消耗品費	0	0	0	0	0	0	183,880	183,880
修繕費	0	0	0	0	0	0	1,476,600	1,476,600
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	15,655	15,655
燃料費	0	0	0	0	0	0	1,265	1,265
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	110,605	110,605
保険料	0	0	0	0	0	0	159,876	159,876
諸謝金	0	0	0	0	0	0	760,465	760,465
租税公課	0	0	0	0	0	0	100,716	100,716
委託費	0	0	0	0	0	0	654,425	654,425
研修費	0	0	0	0	0	0	254,700	254,700
諸会費	0	0	0	0	0	0	11,430	11,430
手数料	0	0	0	0	0	0	136,785	136,785
支払利息	0	0	0	0	0	0	19,973	19,973
雑費	0	0	0	0	0	0	22,885	22,885
経常費用計	70,235,244	29,099,168	57,846,668	45,191,485	1,030,259,445	1,030,259,445	15,422,221	1,131,937,827
当期経常増減額	△ 5,216,852	△ 4,941,716	△ 129,854	504,163	24,255,360	24,255,360	△ 14,911,926	△ 11,064,271
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	33,708	0	0	0	33,709	33,709	0	33,709
経常外費用計	33,708	0	0	0	33,709	33,709	0	33,709
当期経常外増減額	△ 33,708	0	0	0	△ 33,709	△ 33,709	0	△ 33,709
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,250,560	△ 4,941,716	△ 129,854	504,163	24,221,651	24,221,651	△ 14,911,926	△ 11,097,980
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	82,000	82,000
当期一般正味財産増減額	△ 5,250,560	△ 4,941,716	△ 129,854	504,163	24,221,651	24,221,651	△ 14,993,926	△ 11,179,980
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
受取補助金	0	0	0	0	5,271,000	5,271,000	0	5,271,000
一般正味財産への振替額	△ 38,526	0	0	0	△ 225,938	△ 225,938	0	△ 225,938
当期指定正味財産増減額	△ 38,526	0	0	0	5,045,062	5,045,062	0	5,045,062

# 貸借対照表

2022年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現 金 預 金	95,524,239	115,724,280	△ 20,200,041
未 収 金	165,789,797	161,477,346	4,312,451
未 収 収 入	1,341	4,808	△ 3,467
前 払 金	349,300	353,000	△ 3,700
前 払 費 用	2,230,757	2,692,233	△ 461,476
立 替 金	47,980	139,505	△ 91,525
流動資産合計	263,943,414	280,391,172	△ 16,447,758
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
定 期 預 金	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
<b>(2) 特定資産</b>			
建 物 附 属 設 備	4,147,651	0	4,147,651
車 両 運 搬 具 品	2	2	0
什 器 備 品	3,396,288	38,527	3,357,761
特定資産合計	7,543,941	38,529	7,505,412
<b>(3) その他固定資産</b>			
建 物 附 属 設 備	2,283,832	2,481,551	△ 197,719
建 物 附 属 設 備	37,467,019	40,857,565	△ 3,390,546
構 築 物 具 品	1,355,831	2,983,402	△ 1,627,571
車 両 運 搬 具 品	8,884,539	12,112,371	△ 3,227,832
什 器 備 品	27,556,338	25,769,652	1,786,686
ソ フ ト ウ ェ ア	700,549	1,002,769	△ 302,220
敷 金	0	13,000	△ 13,000
保 証 金	500,000	500,000	0
出 資 金	100,000	100,000	0
その他固定資産合計	78,848,108	85,820,310	△ 6,972,202
固定資産合計	286,392,049	285,858,839	533,210
資産合計	550,335,463	566,250,011	△ 15,914,548
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未 払 金	45,857,122	54,616,303	△ 8,759,181
未 払 法 人 税	82,000	82,000	0
未 払 消 費 税	2,118,000	1,008,600	1,109,400
未 払 費 用	12,162,925	11,971,409	191,516
預 り 金	5,632,949	5,851,285	△ 218,336
賞 与 引 当 金	49,505,500	50,302,700	△ 797,200
1年内返済予定リース債務	8,465,698	8,530,690	△ 64,992
流動負債合計	123,824,194	132,362,987	△ 8,538,793
<b>2. 固定負債</b>			
リ ー ス 債 務	21,754,302	22,995,139	△ 1,240,837
固定負債合計	21,754,302	22,995,139	△ 1,240,837
負債合計	145,578,496	155,358,126	△ 9,779,630
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
定 期 預 金	200,000,000	200,000,000	0
建 物 附 属 設 備	2,805,701	0	2,805,701
車 両 運 搬 具 品	2	2	0
什 器 備 品	2,277,888	38,527	2,239,361
指定正味財産合計	205,083,591	200,038,529	5,045,062
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(5,083,591)	(38,529)	5,045,062
<b>2. 一般正味財産</b>	199,673,376	210,853,356	△ 11,179,980
(うち特定資産への充当額)	(2,460,350)	0	2,460,350
正味財産合計	404,756,967	410,891,885	△ 6,134,918
負債及び正味財産合計	550,335,463	566,250,011	△ 15,914,548

## 財産目録

2022年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管		398,100
預金	郵便貯金	運転資金として	398,100
	郵便貯金 (1120-3-68145)	運転資金として	385,839
	普通預金		385,839
	三菱UFJ銀行 宝塚中山支店 (3680612)		94,740,300
未収金		主として介護報酬等	94,740,300
未収収益		定期預金利息の未収分	165,789,797
前払金		4月分の前払家賃・駐車場代	1,341
前払費用		保険料、システム保守料 他	349,300
立替金	依頼会員、職員等に対する	提供会員報酬、職員食代等の立替払い 他	2,230,757
			47,980
<b>流動資産合計</b>			<b>263,943,414</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
預金	定期預金	運用益を介護保険事業等の 財源として使用	200,000,000
	尼崎信用金庫 宝塚支店		101,000,000
	池田泉州銀行 逆瀬川支店		99,000,000
<b>特定資産</b>			
建物附属設備		介護老人保健施設、定期巡回随時 対応型訪問介護看護事業に使用	4,147,651
車両運搬具			2
什器備品			3,396,288
<b>その他 固定資産</b>			
建物	宝塚市小浜4-5-6	介護保険事業等の施設として使用	2,283,832
建物附属設備			37,467,019
構築物			1,355,831
車両運搬具			8,884,539
什器備品			27,556,338
ソフトウェア			700,549
保証金			500,000
出資金			100,000
<b>固定資産合計</b>			<b>286,392,049</b>
<b>資産合計</b>			<b>550,335,463</b>
<b>(流動負債)</b>			
未払金	宝塚市薬剤師会他59件に 対する 他	介護保険事業等に供する備品 購入等の未払分 他	45,857,122
未払法人税等			82,000
未払消費税等			2,118,000
未払費用		法定福利費 夏季賞与(10~3月分)の 未払分 他	12,162,925
預り金		社会保険料、住民税等の預り分	5,632,949
賞与引当金		従業員240名に対する賞与の 支払いに備えたもの	49,505,500
1年内返済予定 リース債務	車両運搬具、什器備品		8,465,698
<b>流動負債合計</b>			<b>123,824,194</b>
<b>(固定負債)</b>			
リース債務	車両運搬具、什器備品		21,754,302
<b>固定負債合計</b>			<b>21,754,302</b>
<b>負債合計</b>			<b>145,578,496</b>
<b>正味財産</b>			<b>404,756,967</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(建物、構築物)・・・定額法による。

有形固定資産(建物附属設備)・・・定率法による。

ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法による。

有形固定資産(車両運搬具、什器備品)・・・定率法による。

無形固定資産(ソフトウェア)・・・定額法による。

リース資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)

・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

リース資産(所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産)

・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

#### (2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式による。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
建物附属設備	0	4,217,950	70,299	4,147,651
車両運搬具	2	0	0	2
什器備品	38,527	3,513,400	155,639	3,396,288
小 計	38,529	7,731,350	225,938	7,543,941
合 計	200,038,529	7,731,350	225,938	207,543,941

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	200,000,000	(200,000,000)	0	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	0	—
特定資産				
建物附属設備	4,147,651	(2,805,701)	(1,341,950)	—
車両運搬具	2	(2)	0	—
什器備品	3,396,288	(2,277,888)	(1,118,400)	—
小 計	7,543,941	(5,083,591)	(2,460,350)	—
合 計	207,543,941	(205,083,591)	(2,460,350)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物附属設備	4,217,950	70,299	4,147,651
車両運搬具	265,280	265,278	2
什器備品	3,672,495	276,207	3,396,288
ソフトウェア	151,427	151,427	0
小 計	8,307,152	763,211	7,543,941
その他固定資産			
建物	4,295,500	2,011,668	2,283,832
建物附属設備	88,826,362	51,359,343	37,467,019
構築物	25,771,830	24,415,999	1,355,831
車両運搬具	29,533,831	20,649,292	8,884,539
什器備品	89,936,517	62,380,179	27,556,338
ソフトウェア	5,793,825	5,093,276	700,549
小 計	244,157,865	165,909,757	78,248,108
合 計	252,465,017	166,672,968	85,792,049

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
定期巡回事業補助金	宝塚市	38,529	0	38,526	3	指定正味財産
介護老人保健施設労働環境改善支援事業補助金	兵庫県	0	5,271,000	187,412	5,083,588	指定正味財産
合計		38,529	5,271,000	225,938	5,083,591	-

6 リース取引関係

(ファイナンス・リース取引)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容:その他固定資産…車両運搬具及び什器備品

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	225,938
合計	225,938

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、記載を省略しております。

### 2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	50,302,700	49,505,500	50,302,700	0	49,505,500
合 計	50,302,700	49,505,500	50,302,700	0	49,505,500

# 監査報告書

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

# 監 査 報 告

2022年5月26日

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社  
理事長 妙中 信之 殿

監事 柴 崎 崇



監事 平 井 利 文



私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事務所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 財務諸表等の監査結果

財務諸表等は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

### (3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上